

第251地区 第11分区



1987~1988

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

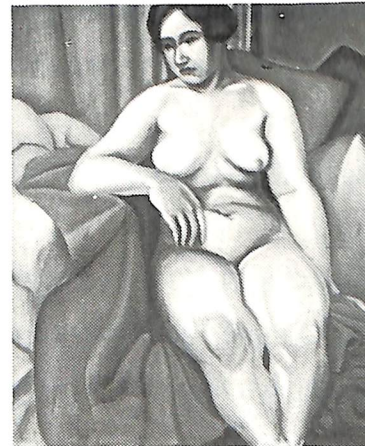
チャールズ C. ケラー 国際ロータリー会長テーマ

ROTARIANS---

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

ロータリアン---

奉仕に結束—平和に献身



酒谷小三郎「裡婦」

1928（昭3）頃

油彩・キャンバス 63.5×51.4
北海道立函館美術館蔵

《第1165回例会》 第9号 8月26日（水）

本日のプログラム

「フリーストーキング」

★会長 川村 邦雄

★幹事 斉藤 紀一

1987~1988

〈第1164回例会〉第8号

8月19日の記録

- 司会 川村 邦雄 会長 ●斉唱 手に手つないで
- ビジター 函館R.C. 斉藤公男君 他7名、五稜郭R.C. 名取晃一君 他1名
函館東R.C. 斉藤誠太郎君、亀田R.C. 加藤忠雄君、
東京西南R.C. 今井量一君
- ゲスト 道南法律事務所 小村 修平氏
- 会長報告 川村 邦雄 会長
○沢田前会長退院しました。1ヶ月ほどで例会に出席する予定です。
- 幹事報告 斉藤 紀一 幹事
○新入会員の推薦がございました(吉田信幸氏)異議申立は書面で8月27日迄
にお願い致します。
○レート変更が来ております。1\$=139円が1\$150円になりました。
○他クラブ例会、8月24日(月)亀田R.C. 8月23日(日)早朝例会に移動
8月25日(火)函館東R.C. 8月29日(土)創立30周年記念式典に移動。
○地区大会参加者の会員で飛行機利用の方
9月25日丘珠行最終便、9月26日丘珠行1便、9月27日丘珠発最終便を、予定
される会員は、交社のご配慮を頂きますので、お申し込み下さい。
これ以外の便は、各自でご手配下さい。
- 委員会報告 石橋 輝男 創立記念事業幹事
9月2日(木)18:30より、国際ホテルにて創立記念企画会議を開催しますので、

各部会正、副委員長、正副実行委員長、会長、幹事は出来るだけ出席して下さい。

- 新入会員の紹介 森 秀樹 会員
畑 昌好氏(反物加工) (尙東屋畑紋章店 代表取締役)
- 親睦活動委員会 太田 博 副委員長
ニコニコBOX投入報告
吉田 会員……先週より入会致しました。
川村 会長……新人吉田さんが受付に座っているの。
宮崎会員・伊藤(康)会員……BOXに協力。
東京西南R.C. 今井量一君……函館に1週間お世話になりました。(L判)

- 卓話 “とりとめもなく、でも視野だけは広く、世界は今、
道南法律事務所 小村 修平氏
6月から陶芸を習い始めた。陶器で地球儀を作ろうと思ったからである。26
年前、ガガリンが宇宙船から見た地球は、星が散っている闇の中にくっきりと
浮び、複雑に変化する青い膜に覆われていた。その輝きは言葉では言い尽せない
美しさだったという。そのような地球には、国境はないのではないかと私は思う。
きっと平和な地球であろう。今日の話は、ここから始めようと思う。
今、世界は平和でしょうか。これについて、次の4つのテーゼが提起される。
まず、よく「戦後42年」あるいは「もはや戦後の時代は終わった」などといわれ
るが、第二次世界大戦後は戦争が無かったのであろうか。とんでもないと答えざ
るを得ない。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、中南米の広い地域に亘って国際紛
争やこれに匹敵する大きな内戦が繰り返され、そこで行われた武力闘争の質や量

さらには失われた人命や文化は、第二次大戦中のそれを凌駕している。日本が戦争を直接経験しなかったので、なんとなく42年間戦後だ、平和だという錯覚に陥っているのではなからうか。テーゼの第二は、それらの紛争が世界大戦という形をとっていないから地球はなお全体として平和なのだという人がいた場合、それはいわばパックス・ルッソ・アメリカーナ、つまり米・ソの意図による、その合図の下での平和にすぎないのではないかということである。この二つの支配権の調和が平和をもたらすというのであれば、米・ソの握手がいつ終りになるかという不安が常に付きまとうばかりではなく、彼等の合意の下でそれぞれが他国に対し比較的自由に行動し、その平和を脅かすことができるのではないか、つまりソ連がハンガリー、チェコ、アフガニスタン等に入ることができたのも、アメリカが、ヴェトナムやリビアを爆撃できたのも、パックス・ルッソ・アメリカーナを背景としているのではないか。これは平和といえるのでしょうか。第三のテーゼは、核があることで戦争が避けられたということは正しいのか、核の戦争抑止能力の問題である。私は、核には他国の核使用そのものを抑止する能力はあると思う。その反面として核以外の武力紛争を許容し誘発する原因となるのではないか。互いに相手の核使用が抑止されていることを担保として、それぞれの勢力圏の中で気ままに武力を行使し、第三国に戦争することを許しているのではなからうか。また、核がなければ米ソは激突したであろうか。私はそうとは思わない。第一次、二次世界大戦は、世界の強国が二分して闘ったということになっているが、すでに当時においても、独・仏・英・日は世界を支配する力を持っていなかった。巨大勢力である米・ソは、巧妙に直接の接触を避けている。それが避けられる限りは、42年間の各地の紛争に直接・間接に介入している。最後のテーゼは、日本だけは平和といってよいのだろうかという点である。現代は総力戦である。経済力も紛争を惹起し、その帰趨を左右する。日本は武器製造で紛争の部外者ではない。国際紛争は地域的に限局されず広く波及する要因を内在している。

日本だけが平和といえるだろうか。戦争は、人種問題、宗教対立や政治的覇権争奪を原因とするが、その基盤にあるのは「国境」の存在である。古くは世界連邦論者が理念として国境を取りはらうことを考えた。第二次大戦後、新生アフリカの指導者たちが、真のアフリカ独立は統一とともにしなければ駄目だと叫んで努力した。植民帝国によるアフリカ分割が人文的、人種的自然を無視したものであったための、現実認識によるものであったが、人知は人為的国境を克服できなかった。しかし、この方向への模索はECに見出すことができる。日本は、西ドイツに対する世界の評価を学ぶべきだと思う。

アフリカといえば、飢餓を誰もが思い起す。しかし先進国のトップにあるアメリカにも人口の一割に達する飢えに苦しむ人々のいることは余り知られていないようだ。4年前全米市長会議は、今日アメリカ諸都市のかかえる最大の問題と報告し、E・ケネディ上院議員は早速フィールド調査に乗り出して、ニュー・プアの激増を確認した。飢えからの開放は、世界の平和実現の根底にある大問題として、全世界われわれ一人一人の手で解決されなければならない。

(この外、民主政治イコール多数決原理という公式は正しいのか。正しいとするときの「多数」とはどんなものか。その際の少数者への配慮は必要ないのか。それに関連して基本的人権の観点から刑事裁判手続の問題点などを、日米の比較で触れ、これら全部が日本国憲法の三本柱である旨述べたが、これは省略させていただきます。)

◎出席委員会より

当クラブの出席率は、下記のように過去7年間下降線を辿っております。出席することによりR.C.に籍をおく意義があり、地区内出席競走もその原点でもあります。例会の前後8回その他クラブ出席のチャンスがあるのでよろしくお願いします。

1980~81	——	97.42%
1981~82	——	97.34
1982~83	——	96.72
1983~84	——	95.80
1984~85	——	95.65
1985~86	——	92.17
1986~87	——	90.16



函館EXPO'88 1988.7.9~9.18
青函博 成功させよう
HAKODATE EXPO'88

◎ 出席報告

会員数	63名	出席率	函館北 8月12日	91.38%
出席	34名		函館東 8月11日	91.89%
欠席	29名		函館 8月6日	94.09%
他クラブ出席	19名		函館五稜郭 8月7日	100.00%
出席合計	53名		函館亀田 8月10日	86.47%
除外者	5名			

次回・9月2日
プログラム

「手近かな社会奉仕」

高杉 重雄 会員

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館 国際ホテル
 事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1987~1988

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

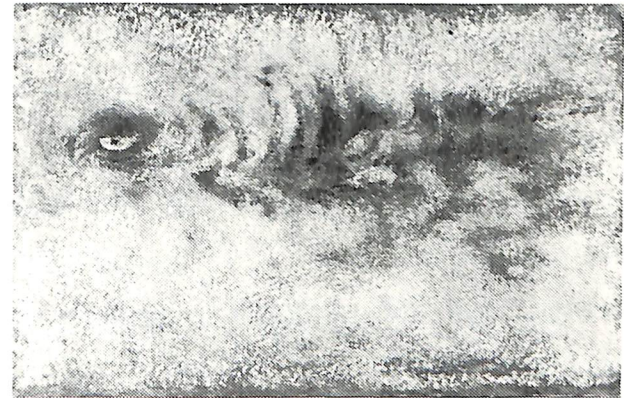
チャールズ C. ケラー 国際ロータリー会長テーマ

ROTARIANS---

UNITED IN SERVICE-DEDICATED TO PEACE

ロータリアン---

奉仕に結束-平和に献身



橋本 三郎「飛翔 ▲A」1960 (昭35) 油彩・キャンバス 129.5×192.0
 北海道立函館美術館蔵

《第1166回例会》 第10号 9月2日(水)

本日のプログラム

「手近かな社会奉仕」

高杉 重雄 会員

★会長 川村 邦雄

★幹事 斉藤 紀一